



自由民主党 大阪府議団だより

は ら だ

原田こうじ議員が

池田保健所の移転決定に至る経緯・今後の進め方、ドナー助成制度の導入や“アピアランスケア”に対する取り組み、府有施設の有効活用などについて質問しました。



骨髄バンク ドナー助成制度

ドナー登録者の確保と助成制度導入への取り組みは？

原田議員

Q

毎年2000人以上の方が骨髄等の移植を必要としているなか、移植の推進をしていくためには一人でも多くの方にドナー登録をしていただくこと、安心して骨髄提供に臨める環境整備(経済的・精神的負担の軽減)が必要だ。府のドナー登録者確保への取り組みと環境整備に向けたドナー助成制度の導入を問う。

健康医療部長

A

登録者確保に向け、府ホームページやイベントでの周知、駅等での集団登録会の開催に取り組んでおり)令和3年度の登録者は4,800人)引き続き進めていく。環境整備については、国に対して骨髄提供に伴う休業補償制度の創設等を要望している。関係団体と連携し、事業主などにドナー特別休暇制度の導入を働きかけていく。

原田議員の要望

国の動きを待つのではなく、ドナー助成制度導入の加速を強く要望する。



がん患者の“アピアランス(外見)ケア”に対する体制整備

原田議員

Q

がん治療による皮膚の障がいや脱毛などの外見上の変化は、精神的な負担や社会生活に影響する可能性があり、厚生労働省において“アピアランス(外見)ケア”に関する事業が検討されている。府もがん患者に必要な支援が受けられるよう、例えば大阪国際がんセンターを含む府内の拠点病院と連携して体制整備を進める必要がある。

健康医療部長

A

これまでがん相談支援センターの相談員に対しメイクなど外見ケアの研修を行ってきたが、今年度は心理面も含めたアピアランスケアの研修やイベントなどの実施も考えている。患者支援に必要な情報を収集し府ホームページで提供する準備も進め、体制構築に対しては府の役割を積極的に果たしていく。

池田保健所の移転

紆余曲折を経て、池田市医師会館(跡地)を候補地とした経緯と今後の進め方

原田議員

Q

池田保健所の移転については、当初の候補地の保健福祉総合センターへの移転計画が提案した池田市側から白紙撤回され、移転協議が中止になっていたが、本年9月末に健康医療部から池田市医師会館の跡地を候補地に検討・準備を進めるとの報告があった。今回の候補地選定に至る経緯と今後の進め方を問う。

健康医療部長

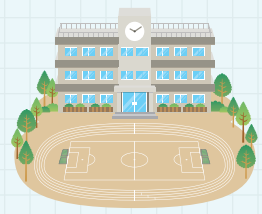
A

移転先は住民の利便性、保健医療や災害対策における地域連携の観点等から池田市内について検討し、池田市から池田市医師会館の跡地利用の提案があった。今後、府と池田市、池田市医師会との三者において具体的な協議を進めながら、池田保健所の移転に向けた検討・準備を進めていく。

令和4年9月定例府議会

府有施設の有効活用

旧池田北高校グラウンドなど、平日も地域ニーズに即した活用を



原田議員

Q

府立高校の統廃合が進み、閉校後の高校の利活用に向けて検討が進むなか、池田北高校のように当面の間、既存施設はそのままというケースが多いように聞く。跡地のグラウンドを平日も活用できれば、非常に有効と考えるがどうか。府立高校跡地の活用方針と活用状況を問う。

教育長

A

活用方針は庁内ルールに基づき、教育庁内、全庁内、地元市町村の順に活用意向を確認し、意向がない場合は売却(入札)が基本。旧池田北高校をはじめ、府立高校跡地は土地の境界や土壌の調査などを実施している間、地元市からの申し出を受け、暫定的にグラウンドの開放を認め、平日の利用は条件を調整のうえ対応する。

未利用となっている府有施設の管理方法

原田議員

Q

池田市内には今後、未利用となる可能性の高い施設があるが、府内全体でも閉校跡地のみならず、未利用となっている府有施設等が現在、いくつあるのか。財務部がそれらの施設等を一元管理して、有効活用を図るべき。

財務部長

A

施設等は財産所管部局が管理しており、利用していない施設等の数は令和3年12月時点で10件となっている。今後とも、財産所管部局と情報を共有しながら、総合的な視野に立って施設等の有効活用を図っていく。

池田市に今後、点在する跡地の活用は一体的に取り組むべき

原田議員

Q

池田市では池田北高校、子ども家庭センター、池田保健所が閉鎖または移転を予定されているが、府の福祉部、教育庁、健康医療部と実に3つの部署と折衝しなければならない。そこで、例えば今年度設置された市町村局の中に、池田市との間で「府有跡地活用推進協力協議会」を立ち上げるなどすべきと思うが、知事の見解は。

知事

A

市町村の意向というのは非常に重要。今後とも市町村の要望、これを十分に尊重しながら府有施設の有効活用を図ってまいりたい。



Profile

池田市選出

昭和55年9月5日生まれ／大教大附属池田小学校／大教大附属池田中学校／関西大倉高校／甲南大学法学部卒業／(株)NEXYZ勤務を経て、衆議院議員 原田けんじ 秘書／平成31年4月より府議会議員(二期目)／現在総務常任委員会委員

宇賀なつみの大阪府議会プライム 原田こうじ議員が出演します!



カンテレchannel
にて**同時配信決定!**

「青少年の健全育成」について語ります。

11月21日(月) 22時54分から23時



- 番組名: 『宇賀なつみの大阪府議会プライム』
- 放送日時: 2022年10月4日スタート
毎週火曜 22:54~23:00 (全12回)
- 出演: 宇賀なつみ (フリーアナウンサー)、大阪府議会議員
- 放送: 関西テレビ (関西ローカル)
番組ホームページ: <https://www.ktv.jp/prime>

大阪府議会の役割や取り組みなどについて宇賀なつみさんが議員に質問していく番組で、幅広い世代に府議会の活動をわかりやすく伝えています。



- 番組名: 『フォーエイト48の大阪府議会に凸ってみた!』
- 配信日時: テレビ番組と同日配信 (全12回)
- 出演: フォーエイト48、宇賀なつみ、大阪府議会議員
- 配信: 関西テレビ公式YouTubeチャンネル

大阪を拠点に活動する人気YouTuber「48(フォーエイト)」の10代~20代8人のメンバーが、未来を担う若世代を代表して議員に率直な疑問をぶつけます。

池田保健所

令和9年度の移転・建て替え に向け大詰めの協議すすむ。



今議会でも取り上げましたが、池田保健所は庁舎面積が府内最小、バリアフリー化も非対応で移転建て替え等が急務でした。

平成31年池田市から移転協議の突然の白紙撤回の末暗礁に乗り上げていましたが、今回池田市医師会のご協力を頂き、令和9年度の移転建て替えに向け、府庁内で協議が進んでいます。

■池田市医師会館の位置



- 池田市医師会館の敷地概要
敷地面積: 2,002㎡
所有者: 池田市医師会
アクセス: 阪急宝塚線池田駅から
1km (徒歩13分)



池田市医師会会長らとともに
大阪府藤井健康医療部長と面談。
意見交換を行いました。

提案型で一步前進!

アピアランスケアって ご存知ですか?



医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアです。いわゆる医療用ウィッグなどが有名です。

先日、がん対策におけるアピアランスケアの支援体制拡充を本会議で取り上げました。(裏面)

早速大阪府と資生堂ジャパン株式会社とで府民の健康づくりに向けた連携協定が締結されました。大阪府の実施するがん患者に対するアピアランスケアの取り組みに協力し、がん外見ケアの知見をもとに、医療従事者及びがん患者へ向けた外見ケアセミナーが提供されます。またアピアランスケアに関する冊子等を活用し、大阪府が進めるがん対策に関する周知にご協力いただけます。

今後とも府民の様々な声を民間とも連携しながら府政に反映してまいります。



プレミアム食事券 第三期 販売開始



11月15日~ 60万セット
1万円で**13,000円分**の
食事券を販売します!

GOTOイート 大阪 | Q
コールセンター 0570-666-609

